

安否確認サービス2

システム管理者マニュアル

Ver.2.6.0

目次

1章 はじめに	1
1.1 本書の利用について	1
1.2 プランによる違いについて	1
1.2.1 機能	1
1.2.2 部署選択.....	2
1.2.3 エンタープライズ.....	2
1.3 システム管理者の利用イメージ	3
1.3.1 準備のイメージ	3
1.3.2 災害時のイメージ	3
1.4 システム管理者用の機能とデバイスについて	4
1.5 システム管理者のメニューについて	5
1.5.1 システム管理者のメニュー	5
2章 システム設定について	6
2.1 システム設定メニューを表示する	6
2.2 会社情報の設定を行う	8
2.2.1 会社名の変更.....	8
2.2.1.1 会社名の設定画面	8
2.2.2 部署/地域/ユーザーを設定する	8
2.2.2.1 部署/地域/ユーザーの設定画面	8
2.2.2.2 新しい部署を追加画面	9
2.2.2.3 この部署の情報を編集する画面.....	10
2.2.2.4 新しいユーザーを追加画面	11
2.3 CSV ファイルからの読み込みを行う.....	13
2.3.1 CSV ファイルからの読み込み - 部署情報.....	13
2.3.1.1 部署の CSV ファイルからの読み込み画面.....	14
2.3.2 CSV ファイルからの読み込み - ユーザー情報.....	15
2.3.2.1 ユーザー情報の CSV ファイルからの読み込み画面.....	15
2.3.3 CSV ファイルからの読み込み - 役割.....	18
2.3.3.1 役割の CSV ファイルからの読み込み画面.....	18
2.3.4 CSV ファイルからの読み込み - ユーザーの所属部署	21
2.3.4.1 ユーザーの所属部署の CSV ファイルからの読み込み画面	21
2.3.5 CSV ファイルからの読み込み - ユーザーの所属地域	23
2.3.5.1 ユーザーの所属地域の CSV ファイルからの読み込み画面	23
2.4 CSV ファイルへの書き出しを行う.....	25
2.4.1 CSV ファイルからの書き出し - 部署情報.....	25
2.4.1.1 部署情報の書き出し画面	26
2.4.2 CSV ファイルからの書き出し - ユーザー情報	27
2.4.2.1 ユーザー情報の書き出し画面.....	27
2.4.3 CSV ファイルからの書き出し - 役割	28
2.4.3.1 役割の書き出し画面	28
2.4.4 CSV ファイルからの書き出し - ユーザーの所属部署	29

2.4.4.1 ユーザーの所属部署の書き出し画面	30
2.4.5 CSV ファイルからの書き出し - ユーザーの所属地域	31
2.4.5.1 ユーザーの所属地域の書き出し画面	31
2.5 管理者の設定を行う	32
2.5.1 システム管理者の設定を行う	32
2.5.1.1 システム管理者を設定	32
2.5.2 危機管理責任者の設定を行う	32
2.5.2.1 危機管理責任者の設定	33
2.5.3 マネージャーの設定を行う	33
2.5.3.1 マネージャーの設定	34
2.6 部門管理者の設定を行う	34
2.6.1 部門システム管理者の設定を行う	34
2.6.1.1 部門システム管理者を設定	35
2.6.1.2 部門システム管理者を追加する	36
2.6.2 部門危機管理責任者の設定を行う	37
2.6.2.1 部門危機管理責任者を設定	37
2.6.2.2 部門危機管理責任者を追加する	38
2.6.3 部門マネージャーの設定を行う	39
2.6.3.1 部門マネージャーを設定	39
2.6.3.2 部門マネージャーを追加する	40
2.6.4 管理者（役割）の兼務について	41
2.6.4.1 管理者兼務可否表 1（ライト・プレミア・ファミリープラン）	41
2.6.4.2 管理者兼務可否表 2（エンタープライズプラン）	41
2.7 セキュリティの設定を行う	43
2.7.1 システム設定パスワードの変更を行う	43
2.7.1.1 システム管理パスワードの設定	43
2.7.2 2段階認証の設定を行う	44
2.7.2.1 2段階認証の設定	44
2.7.3 ログイン用 URL の有効期間の設定を行う	45
2.7.3.1 ログイン用 URL の有効期間の設定	45
2.7.4 フィーチャーフォン（ガラケー）アクセス許可の設定を行う	46
2.7.4.1 フィーチャーフォン（ガラケー）アクセス許可の設定	46
2.7.5 IP アドレス制限の設定を行う	47
2.7.5.1 IP アドレス制限の設定	47
2.8 アプリケーションの設定を行う	48
2.8.1 メッセージ作成許可の設定を行う	48
2.8.1.1 メッセージ作成許可の設定	48
2.8.2 所属地域の編集許可の設定を行う	50
2.8.2.1 所属地域の編集許可の設定	50
2.9 外部システム連携の設定を行う	50
2.9.1 API 認証トークンの発行を行う	50
2.9.1.1 API 認証トークンの発行	51
2.9.2.1 API 認証トークンを破棄する	51

1章 はじめに

1.1 本書の利用について

本書では「安否確認サービス2」のシステム管理者用の機能について説明します。

基本的な操作については「共通マニュアル」を参照してください。

役割	説明
危機管理責任者	緊急時にも事業活動を継続できるように情報を正確に把握し対応を指示する総責任者。 運用管理に関する全ての利用権限操作ができます。
マネージャー	事業活動を推進するために情報を正確に把握し対応を指示する責任者。 運用管理の閲覧の一部を利用できます。
システム管理者	本書の対象です。 ユーザー情報や組織・地域情報を管理し安否確認サービスの利用権限を管理する責任者。 ユーザー登録や部署の登録等システム管理に関する全ての利用権限操作が可能です。
ユーザー	安否確認サービスに登録され緊急時に状況を報告するユーザー。
部門役割	説明
部門危機管理責任者	部門の危機管理責任者です。管理できる部署が限定されています。 Enterprise
部門マネージャー	部門のマネージャーです。管理できる部署が限定されています。 lite
部門システム管理者	本書の対象です。 部門のシステム管理者です。管理できる部署が限定されています。 Enterprise

1.2 プランによる違いについて

1.2.1 機能

プランにより機能が異なります。ライトプランは基本機能です。ライトプラン、プレミアムプラン、ファミリープラン、最上位プランのエンタープライズの順に機能が増えます。上位プランは下位プランの機能を含んでいます。

プラン	説明
Enterprise	エンタープライズ限定機能です。ファミリー・プレミアム・ライト機能を内包します。 【部門管理】
Family	ファミリープラン以上の機能です。プレミアム・ライト機能を内包します。 【家族の安否確認】
Premier	プレミアムプラン以上の機能です。ライト機能を内包します。 【災害に連動した自動送信・掲示板/メッセージへのファイルアップロード・ ユーザー自身の地域設定】
lite	ライトプランは安否確認サービス2の基本機能です。 【手動による一斉送信・平時のアンケート利用・掲示板作成/メッセージ作成】

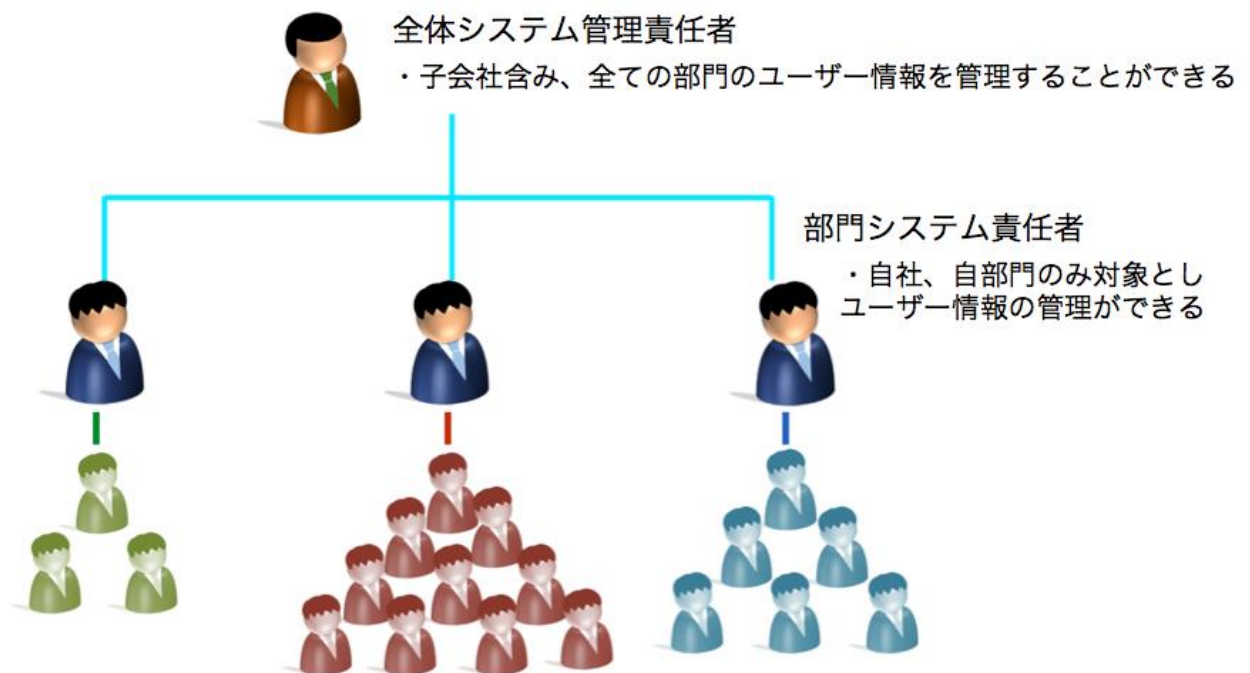
1.2.2 部署選択

大規模な会社での会社—子会社の管理に最適化したエンタープライズでは各設定に部署の選択する項目が追加されています。機能が会社・子会社を含め全体に渡って作用するのか、ある子会社の1部署だけに作用するのか等細かく設定できます。画面キャプチャではエンタープライズを基本に説明を進めます。

1.2.3 エンタープライズ Enterprise

エンタープライズではシステム管理者の権限が及ぶ範囲を全体または部分（部門、子会社等）に制限できます。

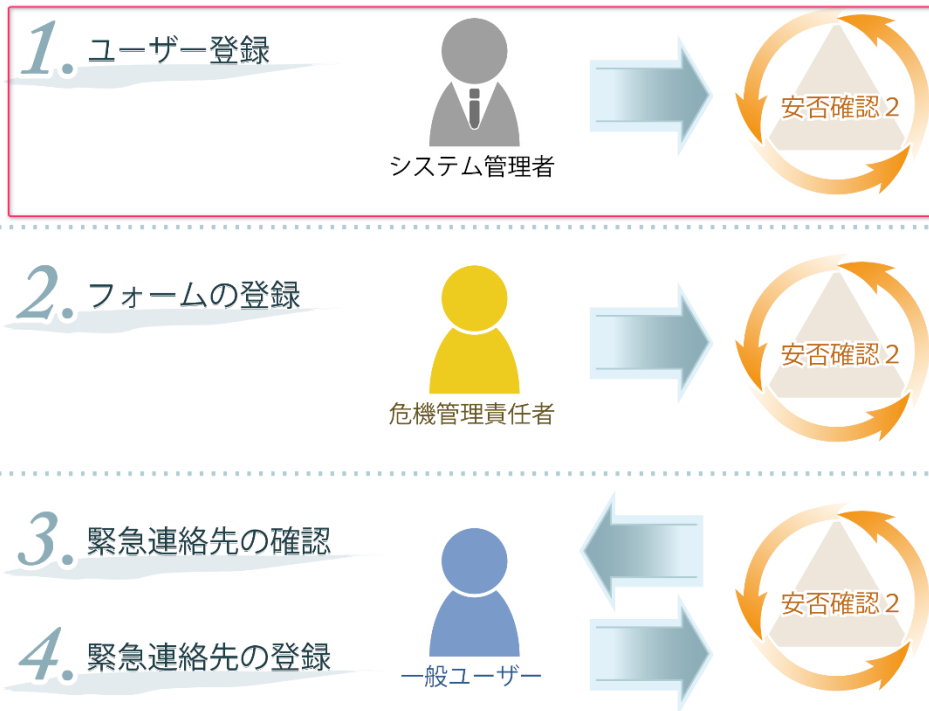
- 利用イメージ



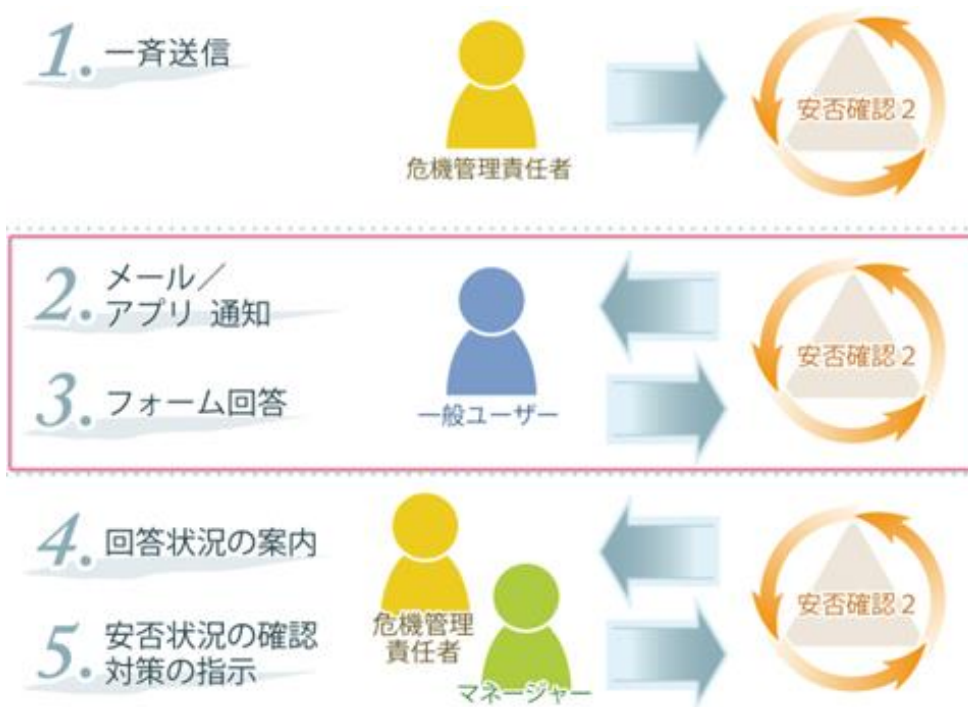
1.3 システム管理者の利用イメージ

準備に安否確認サービス2を利用します。

1.3.1 準備のイメージ



1.3.2 災害時のイメージ



1.4 システム管理者用の機能とデバイスについて

機能	役割別	デバイス別	
	システム管理者	PC スマートフォン タブレット	携帯電話
ログイン	○	○	○
ログイン/パスワードの再設定	○	○	○
ホーム	○	○	○
ホーム/通知の一覧	○	○	○
設問フォームの回答	○	○	○※4
掲示板/閲覧・コメント・添付ファイル ※3	○ Premier	○	○※2
メッセージ/新しいメッセージを作成する	○※1	○※1	○※1
メッセージ/閲覧・コメント・添付ファイル ※3	○ Premier	○	○※2
家族メッセージ	○ Family	○	○
個人設定/プライベート連絡先の設定	○	○	○
個人設定/パスワードの変更	○	○	○
個人設定/ブックマーク用 URL の送信	○	○	○
個人設定/ユーザー情報のメモの設定	○	○	○
個人設定/家族メールアドレスの設定	○ Family	○	○
個人設定/LINE 連携の設定	○	○	-
システム設定/会社名の設定	○	○	-
システム設定/部署・地域・ユーザーの設定	○	○	-
システム設定/CSV ファイルからの読み込み	○	○	-
システム設定/CSV ファイルへの書き出し	○	○	-
システム設定/システム管理者の設定	○	○	-
システム設定/危機管理責任者の設定	○	○	-
システム設定/マネージャーの設定	○	○	-
システム設定/部門システム管理者の設定	○ Enterprise	○	-
システム設定/部門危機管理責任者の設定	○ Enterprise	○	-
システム設定/部門マネージャーの設定	○	○	-
システム設定/システム設定パスワードの変更	○	○	
システム設定/ログイン用 URL の有効期間の設定	○	○	
システム設定/フィーチャーフォン（ガラケー）アクセス許可の設定	○	○	
システム設定/IP アドレス制限の設定	○ Enterprise	○	
システム設定/メッセージ作成許可の設定	○	○	-
システム設定/所属地域の編集許可の設定	○ Premier	○	-
システム設定/API 認証トークンの発行	○ Enterprise	○	

- ※1 利用制限されていない場合にメッセージの送信をご利用頂けます。
- ※2 添付ファイルはダウンロードのみ可能です。閲覧・コメントは可能です。
- ※3 添付ファイルはプレミアムプランからご利用頂けます。
- ※4 メール内にある <http://> から始まる URL からご利用頂けます。<https://>から始まる URL はご利用頂けません。

- システム管理者はユーザー名にアンダーライン（リンク）がある場合にクリックするとユーザー情報を閲覧できます。このユーザー情報は安否確認サービスに登録されている現在の情報です。過去の連絡状況と照会した場合に現在のユーザー情報と一致しない場合は旧姓またはメールアドレスの変更等が考えられます。
- エンタープライズでは一斉送信・連絡状況等親会社・子会社にまたがり柔軟な設定を行えます。**Enterprise**

1.5 システム管理者のメニューについて

1.5.1 システム管理者のメニュー



機能)

- システム管理者の役割を持つユーザーがログインすると表示されるメニューです。
- グレーアイコンの「システム設定」はシステム管理者専用の機能です。
- アイコンをクリックすると機能を実行できます。

制限)

- システム設定は https 通信のみ許可されています。フィーチャーフォン（ガラケー）アクセス許可の設定において「HTTPS 通信と HTTP 通信を許可する」と設定していても https 通信で接続を行います。システム設定においては http 通信での運用は行えません。

2章 システム設定について

2.1 システム設定メニューを表示する

システム設定では安否確認サービス2の準備を行います。部署・地域・ユーザーの設定、運用管理者や部門管理者の任命等を行います。



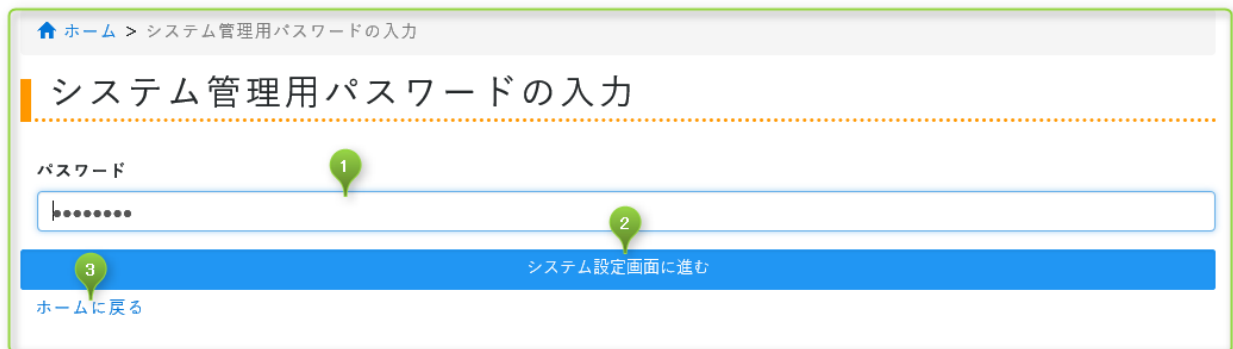
- ① システム設定：システム設定をクリックしてください。「システム管理用パスワードの入力」画面に移動します。

機能)

- システム設定画面にログインできます。
- システム設定画面に認証をしないままアクセスすると本画面に移動します。
- 初期パスワードは安否確認サービス2にお申込み頂いた後に弊社より返送するメール内に記載されています。

制限)

- システム設定画面にログイン後 6 時間有効です。
- パスワードに使用可能な文字等は次の通りです。
 - ・ 6 文字以上、64 文字以内で変更できます。
 - ・ 半角英数及び次の記号 (!@#\$%^&*()) のみ動作保証します。
 - ・ 上記動作保証外の文字をパスワードとしても登録可能ですが、他の端末で安否確認サービス2を利用した際に入力できない(異体字など) 可能性があります。できるだけ動作保証範囲内の文字を利用してください。



- ① パスワード：システム管理者用パスワードを入力します。
- ② システム設定画面に進む：パスワードを確定してシステム設定画面に移動します。
- ③ ホームに戻る：移動を取りやめてホームに戻ります。

システム設定

The screenshot shows the 'システム設定' (System Settings) page. It is organized into two columns of settings boxes. Callouts 1 through 7 are placed over the page to highlight specific sections:

- 1** points to the '会社情報の設定' (Company Information Settings) box, which includes '会社名の設定' (Company Name Settings) and '部署/地域/ユーザーの設定' (Department/Region/User Settings).
- 2** points to the 'CSV読み込み・書き出し' (CSV Import/Export) box, which includes 'CSVファイルからの読み込み' (Import from CSV File) and 'CSVファイルへの書き出し' (Export to CSV File).
- 3** points to the '管理者の設定' (Administrator Settings) box, which includes 'システム管理者の設定' (System Administrator Settings), '危機管理責任者の設定' (Crisis Management Officer Settings), and 'マネージャーの設定' (Manager Settings).
- 4** points to the '部門管理者の設定' (Department Manager Settings) box, which includes '部門システム管理者の設定' (Department System Administrator Settings), '部門危機管理責任者の設定' (Department Crisis Management Officer Settings), and '部門マネージャーの設定' (Department Manager Settings).
- 5** points to the 'セキュリティの設定' (Security Settings) box, which includes 'システム設定パスワードの変更' (Change System Settings Password), '2段階認証の設定' (2FA Settings), 'ログイン用URLの有効期間の設定' (Login URL Validity Period Settings), 'フィーチャーフォン(ガラケー)アクセス許可の設定' (Feature Phone Access Permission Settings), and 'IPアドレス制限の設定' (IP Address Restriction Settings).
- 6** points to the 'アプリケーションの設定' (Application Settings) box, which includes 'メッセージ作成許可の設定' (Message Creation Permission Settings) and '所属地域の編集許可の設定' (Edit Permission for Affiliated Region Settings).
- 7** points to the '外部システム連携の設定' (External System Integration Settings) box, which includes 'API認証トークンの発行' (API Authentication Token Issuance).

- ① 会社情報の設定： 会社名の設定と部署・地域・ユーザーの登録・編集等を実行します。会社名はヘッダーセクション右上に常に表示します。
- ② CSV 読み込み・書き出し： 部署・地域・ユーザーの各種登録情報を読み込む・書き出す等を実行できます。環境の移行やユーザーデータの入れ替え・データのバックアップ等を実行できます。
- ③ 管理者の設定： システム管理者・運用管理者を任命できます。
- ④ 部門管理者の設定： 部門システム管理者・部門危機管理責任者・部門マネージャーを任命できます。 **Enterprise**
部門マネージャーのみ任命できます。 **Family Premier lite**
- ⑤ セキュリティの設定： セキュリティに関する操作を行います。
- ⑥ アプリケーションの設定： メッセージ・所属地域の編集対象者の権限を実行します。 **Premier**
- ⑦ 外部システム連携の設定： API を利用してデータ編集を行う場合に API 認証トークンを発行します。 **Enterprise**

2.2 会社情報の設定を行う

2.2.1 会社名の変更



- ① 会社名の設定：メニューの会社名の設定をクリックしてください。

2.2.1.1 会社名の設定画面

機能)

- ヘッダーセクションの右上の会社名を変更します。
- 家族メッセージの登録通知メールの本文に挿入されます。**Family**

制限)

- 英数字日本語・記号等。UTF-8 の範囲内であれば入力可能。
- 会社名：1~256文字（半角・全角それぞれ1文字として計算）



- ① 会社名：会社名を入力します。
- ② 変更する：会社名を変更しシステム設定に戻ります。
- ③ キャンセルする：変更を取りやめてシステム設定に戻ります。

2.2.2 部署/地域/ユーザーを設定する



- ① 部署/地域/ユーザーの設定：メニューの部署/地域/ユーザーの設定をクリックしてください。

2.2.2.1 部署/地域/ユーザーの設定画面

機能)

- 部署/地域/ユーザーの閲覧・追加・編集・削除ができます。
- 部署の並び替えができます。
- 名前・ログイン名で検索ができます。

ホーム > システム設定 > 部署/地域/ユーザーの設定

部署/地域/ユーザーの設定

1 部署/地域を選択

全ユーザー (128人)

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

部署/地域を選択

部署別

上位部署 (1人)

総務部 (5人)

国内物流課 (7人)

海外物流課 (8人)

国内物流2課 (7人)

営業本部 (18人)

新規事業開発部 (6人)

クラウド事業部 (14人)

社長室 (2人)

千葉事業所 (2人)

高知事業所 (2人)

選択した部署情報

配下に新しく部署を追加する

この部署の情報を編集する

配下の部署の並び順を変更する

部署名 総務部

部署コード sou

選択された部署に所属するユーザー

ユーザーを追加する

選択したユーザーを削除する

10 件表示

検索:

<input type="checkbox"/>	名前	ログイン名	メールアドレス
<input checked="" type="checkbox"/>	安否管理夫	Administrator	t.kobayashi+systemadmin2@cstap.com
<input checked="" type="checkbox"/>	一般社員0114	syain0114	syain0114@xxx.anpikakunin-service.biz
<input type="checkbox"/>	一般社員0115	syain0115	syain0115@xxx.anpikakunin-service.biz
<input type="checkbox"/>	一般社員0116	syain0116	syain0116@xxx.anpikakunin-service.biz
<input checked="" type="checkbox"/>	システム太郎	systemtaro	t.kobayashi+systemtaro@cstap.com

5件中1から5まで表示

前 1 次

12 選択したユーザー

- Administrator
- syain0114
- systemtaro

- ① 全ユーザー：登録済の全ユーザー数を表示します。
- ② 部署別・地域別：部署別または地域別の表示変更できます。
- ③ 部署別・地域別表示：②に合わせて表示項目が切り替わります。画面キャプチャは部署別表示です。かつこ内の数字は部署に登録されている人数を表すものです。子部署を階層表示しますが、親部署のかつこ内の数字は親部署と子部署を合計したものではありません。
- ④ 配下に新しく部署を追加する：③の表示においてライトブルー（水色）の配下に新しく部署を追加します。
- ⑤ この部署の情報を編集する：③の表示においてライトブルー（水色）の部署の情報を編集します。
- ⑥ 配下の部署の並び替えを変更する：③の表示においてライトブルー（水色）の配下の部署の並び順を変更する。
- ⑦ 部署名・部署コード：③の表示においてライトブルー（水色）の部署名と部署コードを表示します。
- ⑧ ユーザーを追加する：③の表示においてライトブルー（水色）の部署にユーザーを追加します。
- ⑨ 選択したユーザーを削除する：⑩の表示においてチェックのついたユーザーを削除します。最上部にチェックが付いている場合は全員を削除対象となります。
- ⑩ 検索：ログイン名を対象に検索できます。
- ⑪ 選択された部署に所属するユーザー：③の表示においてライトブルー（水色）に所属するユーザーをリスト表示します。ユーザーの編集・削除を行えます。
- ⑫ 選択したユーザー：⑩の表示においてチェックのついたユーザーをリスト表示します。

2.2.2.2 新しい部署を追加画面

機能)

- 新規部署を追加できます。

制限)

- 英数字日本語・記号等。UTF-8の範囲内であれば入力可能。

- 部署名：1～256文字（半角・全角それぞれ1文字として計算）
- 部署コード：1～256文字（半角・全角それぞれ1文字として計算）英数字を推奨。

ホーム > システム設定 > 部署/地域/ユーザーの設定 > 新しい部署を追加

新しい部署を追加

親部署* 1
最上位部署/総務部

部署名* 2
総務2課

部署コード* 3
sou2

4 追加する

5 キャンセルする

- ① 親部署：【必須】親部署を選択します。
- ② 部署名：【必須】部署名を入力します。
- ③ 部署コード：【必須】内部で使用するデータとして必要になります。
- ④ 追加する：【必須】新しい部署を追加して部署/地域/ユーザーの設定に戻ります。
- ⑤ キャンセルする：追加を取りやめて部署/地域/ユーザーの設定に戻ります。

2.2.2.3 この部署の情報を編集する画面

機能)

- 部署に関連付く親部署を変更できます。
- 部署名・部署コードを編集できます。

制限)

- 英数字日本語・記号等。UTF-8の範囲内であれば入力可能。
- 部署名：1～256文字（半角・全角それぞれ1文字として計算）
- 部署コード：1～256文字（半角・全角それぞれ1文字として計算）半角の英数字を推奨。

ホーム > システム設定 > 部署/地域/ユーザーの設定 > 部署編集

部署編集

親部署* 1
最上位部署/総務部

部署名* 2
国内物流課

部署コード* 3
sou-kokubutsu

4 更新する

5 キャンセルする

- ① 親部署：【必須】親部署を選択します。
- ② 部署名：【必須】部署名を入力します。
- ③ 部署コード：【必須】内部で使用するデータとして必要になります。

- ④ 追加する：【必須】 部署の情報を更新して部署/地域/ユーザーの設定に戻ります。
- ⑤ キャンセルする：更新を取りやめて部署/地域/ユーザーの設定に戻ります。

2.2.2.4 新しいユーザーを追加画面

機能)

- 新規ユーザーを追加できます。
- 所属する部署・地域を設定できます。

制限)

- 英数字日本語・記号等。UTF-8 の範囲内であれば入力可能。
- 名前：1～256 文字（半角・全角それぞれ 1 文字として計算）異体字や旧漢字は常用漢字を推奨
- よみ：1～256 文字（半角・全角それぞれ 1 文字として計算）全角のひらがな・カタカナを推奨
- ログイン名：1～256 文字（半角・全角それぞれ 1 文字として計算）半角の英数字を推奨
- パスワード：6～64 文字（半角・全角それぞれ 1 文字として計算）半角の英数字記号を推奨
- メールアドレス：メールアドレスのフォーマットに対応
- 電話番号：半角数字と半角ハイフンに対応
- メモ：0～2048 文字（半角・全角それぞれ 1 文字として計算）
- 並び順：0-99999999 以下（半角数字のみ対応）未入力でも可能

新しいユーザーを追加

ユーザー情報を入力

名前* 1
安否次郎

よみ 2
あんびじろう

ログイン名* 3
anpijiro

パスワード* 4
●●●●●●

パスワード(確認)* 5
●●●●●●

メールアドレス 6
anpijiro@cstap.com

電話番号 7
090-1234-5678

メモ 8
従業員が入力するメモです。運用管理者への情報伝達などにお使いください。
部門ごとの危機管理責任者・マネージャー・システム管理者が閲覧できます。

並び順 9
10235

10 所属する部署・地域

部署 地域

10 件表示 検索: 11

<input type="checkbox"/>	部署名	所属人数
<input type="checkbox"/>	最上位部署	0
<input type="checkbox"/>	最上位部署/総務部	5
<input checked="" type="checkbox"/>	最上位部署/総務部/国内物流課	7
<input type="checkbox"/>	最上位部署/総務部/国内物流課/パッケージグループ	5
<input type="checkbox"/>	最上位部署/総務部/国内物流2課	7
<input type="checkbox"/>	最上位部署/総務部/海外物流課	8
<input type="checkbox"/>	最上位部署/営業本部	21
<input checked="" type="checkbox"/>	最上位部署/営業本部/国内推進課	5
<input type="checkbox"/>	最上位部署/営業本部/海外推進課	6
<input type="checkbox"/>	最上位部署/営業本部/開発推進課	6

20 件中 1 から 10 まで表示

前 1 2 次

14 追加する

15 キャンセルする

13 選択した部署
• すべて/営業本部/国内推進課
• すべて/営業本部/開発推進課/ソフトウェア

13 選択した地域

- ① 名前：【必須】ユーザーの名前を入力します。
- ② よみ：読みを入力します。ひらがな・カタカナ・アルファベットを入力してください。
- ③ ログイン名：【必須】ユーザーが安否確認サービス2にログインする場合に必要です。

- ④ パスワード：【必須】パスワードを入力します。
- ⑤ パスワード（確認）：【必須】確認用のパスワードを入力します。
- ⑥ メールアドレス：基本的に会社管理のメールアドレスを入力します。プライベートメールアドレスはユーザー個人が個人設定から設定してください。
- ⑦ 電話番号：基本的に会社管理の電話番号を入力してください。
- ⑧ メモ：運用管理者（危機管理責任者・マネージャー）・システム管理者とユーザー本人が閲覧できるメモです。書き込みはシステム管理者とユーザーが行えます。
- ⑨ 並び順：半角数字で入力してください。若い順に並びます。並び順を指定しない場合は入力順に表示します。またはあとから並び替えによって並び順の変更も可能です。
- ⑩ 所属する部署・地域：ユーザーが所属する部署と地域を設定できます。複数部署・複数地域の設定も可能です。⑫では2部署に所属する設定です。
- ⑪ 検索：タブで部署・地域を選択することで機能が変わります。部署タブの時は部署名、地域タブの時は地域名で検索できます。
- ⑫ 部署名：部署タブの時は部署名、地域タブの時は地域名でリスト表示します。選択する場合はチェックしてください。複数選択できます
- ⑬ 選択した部署・地域：⑫で選択した部署・地域を表示します。
- ⑭ 追加する：ユーザーを追加して部署/地域/ユーザーの設定に戻ります。
- ⑮ キャンセルする：追加を取りやめて部署/地域/ユーザーの設定に戻ります。

2.3 CSV ファイルからの読み込みを行う



- ① CSV ファイルからの読み込み：メニューのCSV ファイルからの読み込みをクリックしてください。

2.3.1 CSV ファイルからの読み込み - 部署情報



- ① 部署情報：メニューの部署情報をクリックしてください。

2.3.1.1 部署の CSV ファイルからの読み込み画面

機能)

- 部署情報を CSV ファイルを使って登録できます。(上書き登録)
- *(アスタリスク)が入力されている箇所は無視して登録します。部署名が変わっても部署コードを変えたくない場合等に利用できます。

CSV フォーマット)

| 現部署コード | 部署名 | 新部署コード | 親部署コード |

制限)

- システム管理者・部門システム管理者のみ操作できます。
- CSV ファイルは Windows31J・UTF-8 に対応。
- CSV 形式のテキストファイルを CSV ファイル・TXT ファイルとして読み込ませてください。その他形式のファイルは非推奨
- 英数字日本語・記号等。Windows31J・UTF-8 の範囲内であれば入力可能。
- 部署名：256 文字以内（半角・全角それぞれ 1 文字として計算）
- 部署コード：256 文字以内（半角・全角それぞれ 1 文字として計算）半角の英数字を推奨。
- 未所属ユーザー部署は更新・削除不可。
- 「最上位部署」(0 階層部署) は部署名の編集可能・削除不可。
- 上書き登録のため CSV ファイルに登録されていない部署は削除されるが、掲示板・メッセージ等に関連付いている部署は削除不可。
- 自動一斉送信の設定（地震・津波・特別警報・予約配信）に関連付いている部署とその上位の部署は更新・削除不可。
- 部署コードに「/」(スラッシュ)の入力は不可。
- 登録時に所属部署が消えてしまったユーザーは「未所属ユーザー」へ強制的に所属します。

- ① 参照：読み込む CSV ファイルを選択します。
- ② 読み込み対象部署：読み込んだ CSV ファイルを反映する部署を選択します。初回は「最上位部署」を選択してください。次回以降は読み込む部署を選択してください。**Enterprise**
- ③ 文字コード：CSV ファイルの文字コードに合わせて選択してください。文字コードについて不明な場合は使用しているパソコンの種類（Windows または Macintosh）に合わせて選択します。
- ④ 次に、ファイルの中身を確認する：ファイルの中身を確認する画面に移動します。

部署のCSVファイルからの読み込み

CSVファイルから読み込む[部署情報]-Step 2/2

読み込むCSVファイルの中身は、以下のようになっています

(1列目)	(2列目)	(3列目)	(4列目)
現部署コード	部署名	新部署コード	親部署コード
all	すべて	all	
sou	総務部	sou	all
sou-kokubutsu	国内物流課	sou-kokubutsu	sou
sou-kokubutu-pacg	パッケージグループ	sou-kokubutu-pacg	sou-kokubutsu

先頭行を項目名として無視する

読み込む

[ファイル選択画面に戻る](#)

項目は以下の順で読み込みます

1. 現部署コード 2. 部署名 3. 新部署コード 4. 親部署コード

- 読み込む CSV ファイルの中身は、次のようになっています：CSV ファイルの中身の一部を実際に表示します。これから取り込むファイルに文字化けがないか？大きくカラムを間違えていないか？などの確認をしてください。
- 先頭行を項目名として無視する：先頭行を項目名として無視して登録します。例えば⑤の表示では 1 行目に「現部署コード」「部署名」など項目名を確認できます。CSV ファイルを作成する際に利用した項目名を登録しないよう指示ができます。
- 読み込む：CSV ファイルを読み込んで安否確認サービス 2 に部署情報を登録します。
- ファイル選択画面に戻る：読み込みを取りやめて部署の CSV ファイルからの読み込みに戻ります。

2.3.2 CSV ファイルからの読み込み - ユーザー情報

CSVファイルからの読み込み

部署の読み込み

[部署情報](#)

ユーザーの読み込み

[ユーザー情報](#)
[役割](#)

所属の読み込み

[ユーザーの所属部署](#)
[ユーザーの所属地域](#)

- ユーザー情報：メニューのユーザー情報をクリックしてください。

2.3.2.1 ユーザー情報の CSV ファイルからの読み込み画面

機能)

- ユーザー情報を CSV ファイルを使って登録できます。(更新登録)
- * (アスタリスク) が入力されている箇所は無視して登録します。パスワードを変更しない場合等に使えます。
- 現ログイン名が登録済の場合は更新登録します。
- 現ログイン名が未登録の場合は新規登録します。
- 現ログイン名が登録済の場合に削除フラグに「1」が入力されている場合は削除します。
- 現ログイン名と新ログイン名が異なる場合は新ログイン名に更新します。
- 新規登録ユーザーは「未所属ユーザー部署」に関連付けします。

CSV フォーマット)

| 現ログイン名 | 名前 | 新ログイン名 | パスワード | 削除フラグ | よみ | メールアドレス | 電話番号 | 並び順 | メモ

制限)

- システム管理者・部門システム管理者のみ操作できます。
- CSV ファイルは Windows31J・UTF-8 に対応。
- CSV 形式のテキストファイルを CSV ファイル・TXT ファイルとして読み込ませてください。その他形式のファイルは非推奨
- 英数字日本語・記号等。Windows31J・UTF-8 の範囲内であれば入力可能。
- システム管理者のみ削除不可。部門管理者は削除できます。
- 自動一斉送信を設定した危機管理責任者・部門危機管理責任者は削除不可。
- 名前：1～256 文字（半角・全角それぞれ 1 文字として計算）異体字や旧漢字は常用漢字を推奨
- よみ：1～256 文字（半角・全角それぞれ 1 文字として計算）全角のひらがな・カタカナを推奨
- ログイン名：1～256 文字（半角・全角それぞれ 1 文字として計算）半角の英数字を推奨
- パスワード：6～64 文字（半角・全角それぞれ 1 文字として計算）半角の英数字記号を推奨
- メールアドレス：メールアドレスのフォーマットに対応
- 電話番号：半角数字と半角ハイフンに対応
- メモ：0～2048 文字（半角・全角それぞれ 1 文字として計算）
- 並び順：0-99999999 以下（半角数字のみ対応）未入力でも可能

ホーム > システム設定 > CSVファイルからの読み込み > ユーザー情報

ユーザー情報のCSVファイルからの読み込み

項目は以下の順で読み込みます

1. 現ログイン名	2. 名前	3. 新ログイン名	4. パスワード	5. 削除フラグ
6. よみ	7. メールアドレス	8. 電話番号	9. 並び順	10. メモ

ガルーンのCSVフォーマットを使用する場合は、以下の順で読み込みます

1. 現ログイン名	2. 名前	3. 新ログイン名	4. パスワード	5. 並び順	6. (無視)
7. 削除フラグ	8. よみ	9. メールアドレス	10. メモ	11. (無視)	12. 電話番号

CSVファイルから読み込む[ユーザー情報]-Step 1/2

① 参照...

読み込み対象部署
② 最上位部署

文字コード
③ Shift_JISのファイルとして読み込む(Windows OSなど)
④ UTF-8のファイルとして読み込む(MAC OSなど)
 ガルーンのCSVフォーマットを利用する

⑤ 次に、ファイルの中身を確認する

- ① 参照：読み込む CSV ファイルを選択します。
- ② 読み込み対象部署：読み込んだ CSV ファイルを反映する部署を選択します。初回は「最上位部署」を選択してください。次回以降は読み込む部署を選択してください。Enterprise
- ③ 文字コード：CSV ファイルの文字コードに合わせて選択してください。文字コードについて不明な場合は使用しているパソコンの種類（Windows または Macintosh）に合わせて選択します。
- ④ ガルーンの CSV フォーマットを利用する：サイボウズガルーン 3.0 形式に対応しています。

- ⑤ 次に、ファイルの中身を確認する：ファイルの中身を確認する画面に移動します。

🏠 ホーム > システム設定 > CSVファイルからの読み込み > ユーザー情報

ユーザー情報のCSVファイルからの読み込み

CSVファイルから読み込む[ユーザー情報]-Step 2/2

読み込むCSVファイルの中身は、以下のようになっています

(1列目)	(2列目)	(3列目)	(4列目)	(5列目)	(6列目)	(7列目)	(8列目)	(9列目)	(10列目)
現ログイン名	名前	新ログイン名	パスワード	削除フラグ	よみ	メールアドレス	電話番号	並び順	メモ
Administrator	安否管理夫	Administrator	*			@cstap.com	090-1234-5678		緊急連絡先としてプライベートメールアドレスです。 @ezweb.ne.jp システム設定からも閲覧できません。
kikitaro	危機太郎	kikitaro	*		ききたろう	@cstap.com		2	
manetaro	マネージャー小太郎	manetaro	*		マネージャーこたろう	@cstap.com		3	
anpitaro	安否太郎	anpitaro	*		アンピタロウ	@cstap.com		4	

👇 先頭行を項目名として無視する

👉 読み込む

👈 ファイル選択画面に戻る

項目は以下の順で読み込みます

1. 現ログイン名	2. 名前	3. 新ログイン名	4. パスワード	5. 削除フラグ
6. よみ	7. メールアドレス	8. 電話番号	9. 並び順	10. メモ

ガルーンのCSVフォーマットを使用する場合は、以下の順で読み込みます

1. 現ログイン名	2. 名前	3. 新ログイン名	4. パスワード	5. 並び順	6. (無視)
7. 削除フラグ	8. よみ	9. メールアドレス	10. メモ	11. (無視)	12. 電話番号

- ⑥ 読み込む CSV ファイルの中身は、次のようになっています：CSV ファイルの中身の一部を実際に表示します。これから取り込むファイルに文字化けがないか？大きくカラムを間違えていないか？などの確認をしてください。
- ⑦ 先頭行を項目名として無視する：先頭行を項目名として無視して登録します。例えば⑤の表示では 1 行目に「現ログイン名」「名前」など項目名を確認できます。CSV ファイルを作成する際に利用した項目名を登録しないよう指示ができます。
- ⑧ 読み込む：CSV ファイルを読み込んで安否確認サービス 2 にユーザー情報を登録します。
- ⑨ ファイル選択画面に戻る：読み込みを取りやめてユーザー情報の CSV ファイルからの読み込みに戻ります。

2.3.3 CSV ファイルからの読み込み - 役割



- ① 役割：メニューの役割をクリックしてください。

2.3.3.1 役割の CSV ファイルからの読み込み画面

機能)

- 役割情報を CSV ファイルを使って登録できます。(上書き登録)
- *(アスタリスク)が入力されている箇所は無視して登録します。

CSV フォーマット)

| ログイン名 | 役割 (危機管理責任者, マネージャー, 部門危機管理責任者, 部門マネージャー) | 部署コード |

- 役割は次のコードで指定します。

- 1 : 危機管理責任者
- 2 : マネージャー
- 3 : 部門マネージャー
- 4 : 部門危機管理責任者 **Enterprise**
- 5 : 部門システム管理者 **Enterprise**

制限)

- システム管理者・部門システム管理者のみ操作できます。
- システム管理者は全部署を対象とし、部門システム管理者として管理できる部署のみが対象となります。
- CSV ファイルは Windows31J・UTF-8 に対応。
- CSV 型式のテキストファイルを CSV ファイル・TXT ファイルとして読み込ませてください。その他形式のファイルは非推奨
- 英数字日本語・記号等。Windows31J・UTF-8 の範囲内であれば入力可能。
- 部署コードを省略した場合は「最上位部署」に所属します。
- ログイン名：1~256 文字（半角・全角それぞれ 1 文字として計算）半角の英数字を推奨
- 部署コード：1~256 文字以内（半角・全角それぞれ 1 文字として計算）半角の英数字を推奨。
- 危機管理責任者と部門危機管理責任者は兼務できません。 **Enterprise**
- マネージャーと部門マネージャーは兼務できません。
- 危機管理責任者とマネージャーは兼務できません。
- 部門危機管理責任者と部門マネージャーは兼務できません。 **Enterprise**
- 自動一斉送信を設定した危機管理責任者・部門危機管理責任者は次の通り制限があります。
 - 危機管理責任者の場合は、解任・変更ができません。
 - 部門危機管理責任者の場合は、解任できませんが、危機管理責任者へ変更できます。

2.3.4 CSV ファイルからの読み込み - ユーザーの所属部署



- ① ユーザーの所属部署：メニューのユーザーの所属部署をクリックしてください。

2.3.4.1 ユーザーの所属部署の CSV ファイルからの読み込み画面

機能)

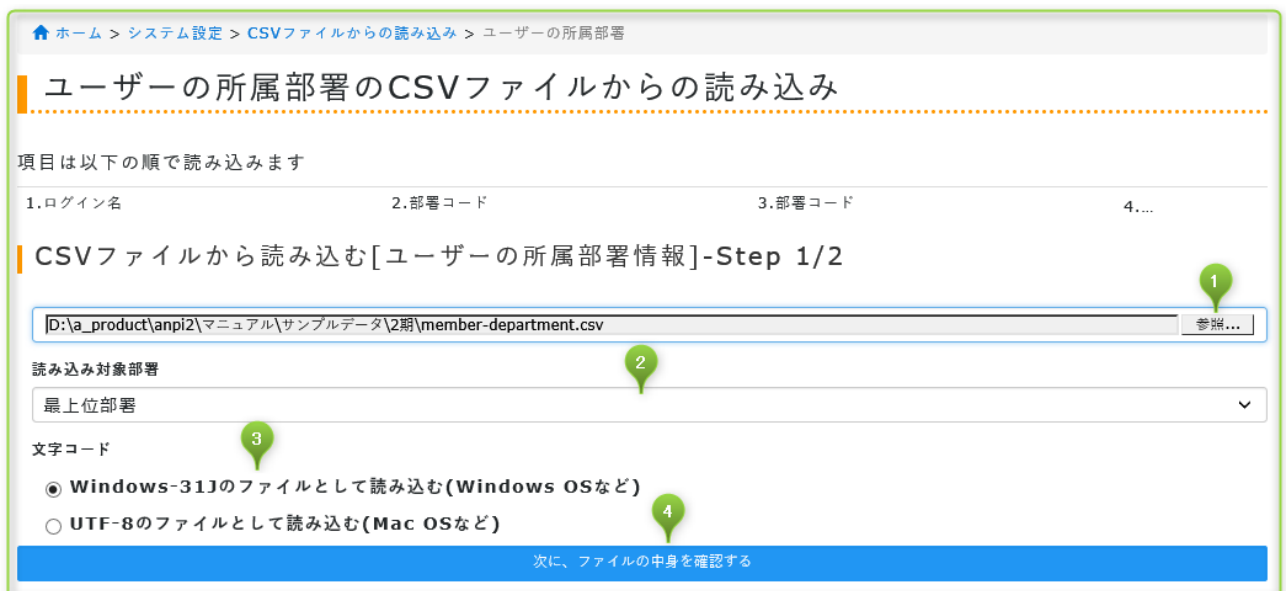
- ユーザーの所属部署を CSV ファイルで登録できます。(更新登録)
- *(アスタリスク)が入力されている箇所は無視して登録します。

CSV フォーマット)

| ログイン名 | 部署コード | 部署コード | ... |

制限)

- システム管理者・部門システム管理者のみ操作できます。
- システム管理者は全部署を対象とし、部門システム管理者として管理できる部署のみが対象となります。
- CSV ファイルは Windows31J・UTF-8 に対応。
- CSV 形式のテキストファイルを CSV ファイル・TXT ファイルとして読み込ませてください。その他形式のファイルは非推奨
- 英数字日本語・記号等。Windows31J・UTF-8 の範囲内であれば入力可能。



- ① 参照：読み込む CSV ファイルを選択します。
- ② 読み込み対象部署：読み込んだ CSV ファイルを反映する部署を選択します。初回は「最上位部署」を選択してください。次回以降は読み込む部署を選択してください。Enterprise
- ③ 文字コード：CSV ファイルの文字コードに合わせて選択してください。文字コードについて不明な場合は使用しているパソコンの種類（Windows または Macintosh）に合わせて選択します。

- ④ 次に、ファイルの中身を確認する：ファイルの中身を確認する画面に移動します。

🏠ホーム > システム設定 > CSVファイルからの読み込み > ユーザーの所属部署

ユーザーの所属部署のCSVファイルからの読み込み

CSVファイルから読み込む[ユーザーの所属部署情報]-Step 2/2

読み込むCSVファイルの中身は、以下のようになっています

(1列目)	(2列目)	(3列目)	(4列目)
ログイン名	部署コード	部署コード	...
kikitaro	sou	eihon	syacho
manetaro	sou-kokubutu-pacg		
anpitaro	sou-kokubutsu		
syain0001	eihon		

先頭行を項目名として無視する

読み込む

[ファイル選択画面に戻る](#)

項目は以下の順で読み込みます

1.ログイン名	2.部署コード	3.部署コード	4....
---------	---------	---------	-------

- ⑤ 読み込む CSV ファイルの中身は、次のようになっています：CSV ファイルの中身の一部を実際に表示します。これから取り込むファイルに文字化けがないか？大きくカラムを間違えていないか？などの確認をしてください。
- ⑥ 先頭行を項目名として無視する：先頭行を項目名として無視して登録します。例えば⑤の表示では1行目に「ログイン名」「部署コード」など項目名を確認できます。CSV ファイルを作成する際に利用した項目名を登録しないよう指示ができます。
- ⑦ 読み込む：CSV ファイルを読み込んで安否確認サービス2にユーザーの所属部署情報を登録します。
- ⑧ ファイル選択画面に戻る：読み込みを取りやめてユーザーの所属部署の CSV ファイルからの読み込みに戻ります。

2.3.5 CSV ファイルからの読み込み - ユーザーの所属地域



- ① ユーザーの所属地域：メニューのユーザーの所属地域をクリックしてください。

2.3.5.1 ユーザーの所属地域の CSV ファイルからの読み込み画面

機能)

- ユーザーの所属地域を CSV ファイルで登録できます。(更新登録)
- *(アスタリスク)が入力されている箇所は無視して登録します。
- 地域コードと都道府県・地域の紐づけを参照できる CSV ファイルをダウンロードできます。

CSV フォーマット)

| ログイン名 | 地域コード | 地域コード | . . . |

制限)

- システム管理者・部門システム管理者のみ操作できます。
- システム管理者は全部署を対象とし、部門システム管理者として管理できる部署のみが対象となります。
- CSV ファイルは Windows31J・UTF-8 に対応。
- CSV 形式のテキストファイルを CSV ファイル・TXT ファイルとして読み込ませてください。その他形式のファイルは非推奨。
- 英数字日本語・記号等。Windows31J・UTF-8 の範囲内であれば入力可能。

ユーザーの所属地域のCSVファイルからの読み込み

項目は以下の順で読み込みます

1.ログイン名 2.地域コード(下記の表を参照してください) 3.地域コード 4....

10 件表示

検索:

地域コード	都道府県	地域
01	北海道	全域
02	青森県	全域
03	岩手県	全域
04	宮城県	全域
05	秋田県	全域
06	山形県	全域
07	福島県	全域
08	茨城県	全域
09	栃木県	全域
10	群馬県	全域

235 件中 1 から 10 まで表示

前

1

2

3

4

5

...

24

次

Windows-31JのCSVとしてダウンロードする(Windows OSなど)
UTF-8のCSVとしてダウンロードする(Mac OSなど)

CSVファイルから読み込む[ユーザーの所属地域情報]-Step 1/2

参照...

読み込み対象部署
最上位部署

文字コード
 Windows-31Jのファイルとして読み込む(Windows OSなど)
 UTF-8のファイルとして読み込む(Mac OSなど)

次に、ファイルの中身を確認する

- ① 項目は以下の順で読み込みます：地域コードを下記の表から参照できます。データ作成時の参考にご利用ください。
- ② 検索：地域コードを検索できます。地域コードを参照する際にご利用ください。
- ③ 参照：読み込む CSV ファイルを選択します。
- ④ 読み込み対象部署：読み込んだ CSV ファイルを反映する部署を選択します。初回は「最上位部署」を選択してください。次回以降は読み込む部署を選択してください。**Enterprise**
- ⑤ 文字コード：CSV ファイルの文字コードに合わせて選択してください。文字コードについて不明な場合は使用しているパソコンの種類（Windows または Macintosh）に合わせて選択します。
- ⑥ 次に、ファイルの中身を確認する：ファイルの中身を確認する画面に移動します。

ホーム > システム設定 > CSVファイルからの読み込み > ユーザーの所属地域

ユーザーの所属地域のCSVファイルからの読み込み

CSVファイルから読み込む[ユーザーの所属地域情報]-Step 2/2

読み込むCSVファイルの中身は、以下のようになっています

(1列目)	(2列目)	(3列目)	(4列目)
ログイン名	地域コード	地域コード	...

先頭行を項目名として無視する

読み込む

[ファイル選択画面に戻る](#)

項目は以下の順で読み込みます

1.ログイン名	2.地域コード(下記の表を参照してください)	3.地域コード	4....
地域コード	都道府県	地域	
01	北海道	全域	
02	香森県	全域	
03	岩手県	全域	

- ⑦ 先頭行を項目名として無視する：先頭行を項目名として無視して登録します。例えば⑤の表示では1行目に「ログイン名」「地域コード」など項目名を確認できます。CSVファイルを作成する際に利用した項目名を登録しないよう指示ができます。
- ⑧ 読み込む：CSVファイルを読み込んで安否確認サービス2にユーザーの所属地域情報を登録します。
- ⑨ ファイル選択画面に戻る：読み込みを取りやめてユーザーの所属地域のCSVファイルからの読み込みに戻ります。
- ⑩ 地域コードと都道府県・地域の紐づけを参照できるCSVファイルをダウンロードできます。WindowsOS用またはMacOS用を選択してください。※⑩は前ページの画面キャプチャ内にあります。

2.4 CSVファイルへの書き出しを行う

CSV読み込み・書き出し

↓ CSVファイルからの読み込み

↑ CSVファイルへの書き出し

- ① CSVファイルからの読み込み：メニューのCSVファイルからの読み込みをクリックしてください。

2.4.1 CSVファイルからの書き出し - 部署情報

ホーム > システム設定 > CSVファイルへの書き出し

CSVファイルへの書き出し

部署の書き出し 部署情報	ユーザーの書き出し ユーザー情報 役割	所属の書き出し ユーザーの所属部署 ユーザーの所属地域
-----------------	---------------------------	-----------------------------------

- ① 部署情報：メニューの部署情報をクリックしてください。

2.4.1.1 部署情報の書き出し画面

機能)

- 部署情報を CSV ファイルとして書き出せます。
- 部署を指定して書き出せます。

CSV フォーマット)

| 現部署コード | 部署名 | 新部署コード | 親部署コード |

制限)

- システム管理者・部門システム管理者のみ操作できます。
- CSV ファイルは Windows31J・UTF-8 に対応。

ホーム > システム設定 > CSVファイルへの書き出し > 部署情報の書き出し

部署情報の書き出し

項目は以下の順で書き出します。

1. 現部署コード	2. 部署名	3. 新部署コード	4. 親部署コード
-----------	--------	-----------	-----------

CSVファイルの中身は、以下のようになります。

```
"all","すべて","all",""  
"sou","総務部","sou","all"  
"sou","総務部","sou","all"  
"sou-kokubutsu","国内物流課","sou-kokubutsu","sou"  
"sou-kokubutsu","国内物流課","sou-kokubutsu","sou"
```

出力形式を設定

出力対象部署
最上位部署

先頭行に項目名を書き出す

文字コード
 Shift_JISで出力する(Windows OSなど)
 UTF-8で出力する(MAC OSなど)

書き出す
キャンセルする

- ① CSV ファイルの中身は、以下のようになります：これから書き出す CSV ファイルの中身の一部を確認します。
- ② 出力対象部署：書き出す部署を選択します。「すべて」を選択すると全情報を書き出します。Enterprise
- ③ 先頭行に項目名を書き出す：書き出す CSV ファイルの先頭行（1 行目）に項目名を書き出します。
- ④ 文字コード：CSV ファイルの文字コードに合わせて選択してください。文字コードについて不明な場合は使用しているパソコンの種類（Windows または Macintosh）に合わせて選択します。
- ⑤ 書き出す：CSV ファイルを書き出します。ファイル名は任意に設定できます。
- ⑥ キャンセルする：書き出しを取りやめて CSV ファイルへの書き出しに戻ります。

2.4.2 CSV ファイルからの書き出し - ユーザー情報

ホーム > システム設定 > CSVファイルへの書き出し

CSVファイルへの書き出し

部署の書き出し
部署情報

ユーザー¹の書き出し
ユーザー情報
役割

所属の書き出し
ユーザーの所属部署
ユーザーの所属地域

① 部署情報：メニューの部署情報をクリックしてください。

2.4.2.1 ユーザー情報の書き出し画面

機能)

- ユーザー情報を CSV ファイルとして書き出せます。
- 部署を指定して書き出せます。

CSV フォーマット)

| 現ログイン名 | 名前 | 新ログイン名 | パスワード | 削除フラグ | よみ | メールアドレス | 電話番号 | 並び順 | メモ

制限)

- システム管理者・部門システム管理者のみ操作できます。
- CSV ファイルは Windows31J・UTF-8 に対応。
- パスワードの書き出しは行いません。* (アスタリスク) に置き換えて書き出します。
- プライベートメールアドレス・ツイッター・家族メールアドレス等の書き出しは非対応です。

ホーム > システム設定 > CSVファイルへの書き出し > ユーザー情報の書き出し

ユーザー情報の書き出し

項目は以下の順で書き出します。

1. 現ログイン名	2. 名前	3. 新ログイン名	4. パスワード	5. 削除フラグ
6. よみ	7. メールアドレス	8. 電話番号	9. 並び順	10. メモ

CSVファイルの中身は、以下のようになります。

```
"kikitaro","危機太郎","kikitaro","**","**","ききたろう  
"manetaro","マネージャー小太郎","manetaro","**","**","  
"anpitaro","安否太郎","anpitaro","**","**","アンピタロ  
"syain001","安川聖","syain001","**","**","ヤスカワヒ  
"syain002","江崎一太郎","syain002","**","**","エザキ  
"902975526","10","ログイン名とパスワードは  
"9029732758","20","ログイン名とパスワー
```

出力形式を設定

出力対象部署 ²

³ 最上位部署

先頭行に項目名を書き出す

文字コード ⁴

Shift_JISで出力する(Windows OSなど)

UTF-8で出力する(MAC OSなど) ⁵

⁶

- ① CSV ファイルの中身は、以下ようになります；これから書き出す CSV ファイルの中身の一部を確認します。
- ② 出力対象部署：書き出す部署を選択します。「すべて」を選択すると全情報を書き出します。**Enterprise**
- ③ 先頭行に項目名を書き出す：書き出す CSV ファイルの先頭行（1 行目）に項目名を書き出します。
- ④ 文字コード：CSV ファイルの文字コードに合わせて選択してください。文字コードについて不明な場合は使用しているパソコンの種類（Windows または Macintosh）に合わせて選択します。
- ⑤ 書き出す：CSV ファイルを書き出します。ファイル名は任意に設定できます。
- ⑥ キャンセルする：書き出しを取りやめて CSV ファイルへの書き出しに戻ります。

2.4.3 CSV ファイルからの書き出し - 役割



- ① 役割：メニューの役割をクリックしてください。

2.4.3.1 役割の書き出し画面

機能)

- 役割情報を CSV ファイルとして書き出せます。
- 部署を指定して書き出せます。

CSV フォーマット)

| ログイン名 | 役割 (危機管理責任者, マネージャー, 部門危機管理責任者, 部門マネージャー) | 部署コード |

- 役割は次のコードで書き出します。
 - 1 : 危機管理責任者
 - 2 : マネージャー
 - 3 : 部門マネージャー
 - 4 : 部門危機管理責任者 **Enterprise**
 - 5 : 部門システム管理者 **Enterprise**

制限)

- システム管理者・部門システム管理者のみ操作できます。
- CSV ファイルは Windows31J・UTF-8 に対応。

2.4.4.1 ユーザーの所属部署の書き出し画面

機能)

- ユーザーと部署を関連付ける情報を CSV ファイルとして書き出せます。
- 部署を指定して書き出せます。

CSV フォーマット)

| ログイン名 | 部署コード | 部署コード | … |

制限)

- システム管理者・部門システム管理者のみ操作できます。
- CSV ファイルは Windows31J・UTF-8 に対応。

ホーム > システム設定 > CSVファイルへの書き出し > ユーザーの所属部署情報の書き出し

ユーザーの所属部署情報の書き出し

項目は以下の順で書き出します。

1. ログイン名
2. 部署コード
3. 部署コード
4. ...

CSVファイルの中身は、以下のようになります。

```
"kikitaro","eihon","syacho"
"manetaro","sou-kokubutu-pacg"
"anpitaro","sou-kokubutsu"
"syain0001","eihon"
"syain0002","eihon-sui"
```

出力形式を設定

出力対象部署
最上位部署

先頭行に項目名を書き出す

文字コード

Windows-31Jのファイルとして読み込む(Windows OSなど)

UTF-8のファイルとして読み込む(Mac OSなど)

書き出す

キャンセルする

- ① CSV ファイルの中身は、以下のようになります：これから書き出す CSV ファイルの中身の一部を確認します。
- ② 出力対象部署：書き出す部署を選択します。「すべて」を選択すると全情報を書き出します。Enterprise
- ③ 先頭行に項目名を書き出す：書き出す CSV ファイルの先頭行（1 行目）に項目名を書き出します。
- ④ 文字コード：CSV ファイルの文字コードに合わせて選択してください。文字コードについて不明な場合は使用しているパソコンの種類（Windows または Macintosh）に合わせて選択します。
- ⑤ 書き出す：CSV ファイルを書き出します。ファイル名は任意に設定できます。
- ⑥ キャンセルする：書き出しを取りやめて CSV ファイルへの書き出しに戻ります。

2.4.5 CSV ファイルからの書き出し - ユーザーの所属地域



- ① ユーザーの所属地域：メニューのユーザーの所属地域をクリックしてください。

2.4.5.1 ユーザーの所属地域書き出し画面

機能)

- ユーザーと地域を関連づける情報を CSV ファイルとして書き出せます。
- 部署を指定して書き出せます。

CSV フォーマット)

| ログイン名 | 地域コード | 地域コード | ... |

制限)

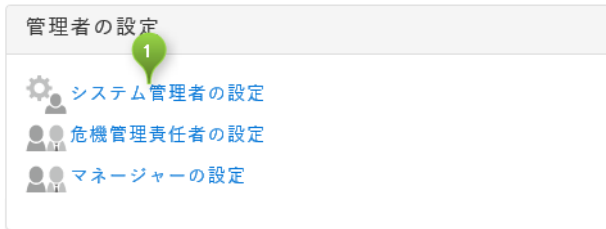
- システム管理者・部門システム管理者のみ操作できます。
- CSV ファイルは Windows31J・UTF-8 に対応。



- ① CSV ファイルの中身は、以下のようになります：これから書き出す CSV ファイルの中身の一部を確認します。
- ② 出力対象部署：書き出す部署を選択します。「すべて」を選択すると全情報を書き出します。Enterprise
- ③ 先頭行に項目名を書き出す：書き出す CSV ファイルの先頭行（1 行目）に項目名を書き出します。
- ④ 文字コード：CSV ファイルの文字コードに合わせて選択してください。文字コードについて不明な場合は使用しているパソコンの種類（Windows または Macintosh）に合わせて選択します。
- ⑤ 書き出す：CSV ファイルを書き出します。ファイル名は任意に設定できます。
- ⑥ キャンセルする：書き出しを取りやめて CSV ファイルへの書き出しに戻ります。

2.5 管理者の設定を行う

2.5.1 システム管理者の設定を行う



- ① システム管理者の設定：メニューのシステム管理者の設定をクリックしてください。

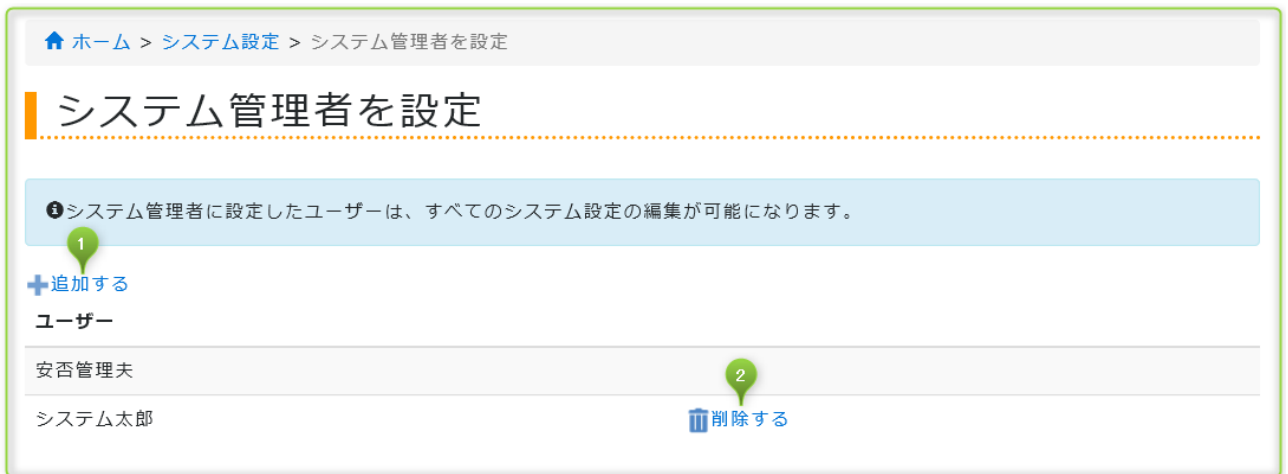
2.5.1.1 システム管理者を設定

機能)

- システム管理者を任命できます。
- 役割は兼務できます。次の管理者兼務可否表を参照してください。
 - 2.6.4.1 管理者兼務可否表 1 (ライト・プレミア・ファミリープラン)
 - 2.6.4.2 管理者兼務可否表 2 (エンタープライズ)

制限)

- 追加人数は無制限です。



- ① 追加する：システム管理者を任命します。
- ② 削除する：システム管理者を解任します。

2.5.2 危機管理責任者の設定を行う



- ① システム管理者の設定：メニューのシステム管理者の設定をクリックしてください。

2.5.2.1 危機管理責任者の設定

機能)

- 危機管理責任者を任命できます。
- 役割は兼務できます。次の管理者兼務可否表を参照してください。
 - 2.6.4.1 管理者兼務可否表 1 (ライト・プレミア・ファミリープラン)
 - 2.6.4.2 管理者兼務可否表 2 (エンタープライズ)

制限)

- 追加人数は無制限です。

🏠 ホーム > システム設定 > 危機管理責任者の設定

危機管理責任者の設定

❗ 危機管理管理者に設定したユーザーは、次のことが可能になります。

- 掲示板の作成
- メッセージの作成
- すべての連絡状況の確認
- すべての連絡網の閲覧
- 一斉送信の実行
- すべての運用設定の編集

➕ 追加する 🗑️ すべて削除する

ユーザー

安否管理夫	🗑️ 削除する
合田和枝	🗑️ 削除する
危機太郎	🗑️ 削除する
江崎一太郎	🗑️ 削除する
花菱美香	🗑️ 削除する
斎藤修	🗑️ 削除する

- ① 追加する：危機管理責任者を任命します。
- ② すべて削除する：全ての危機管理責任者を解任します。
- ③ 削除する：危機管理責任者を解任します。

2.5.3 マネージャーの設定を行う

管理者の設定

- ⚙️ システム管理者の設定
- 👤 危機管理責任者の設定
- 👤 マネージャーの設定

- ① マネージャーの設定：メニューのマネージャーの設定をクリックしてください。

2.5.3.1 マネージャーの設定

機能)

- マネージャーを任命できます。
- 役割は兼務できます。次の管理者兼務可否表を参照してください。
 - 2.6.4.1 管理者兼務可否表 1 (ライト・プレミア・ファミリープラン)
 - 2.6.4.2 管理者兼務可否表 2 (エンタープライズ)

制限)

- 追加人数は無制限です。

① マネージャーに設定したユーザーは、次のことが可能になります。

- ・ 掲示板の作成
- ・ メッセージの作成
- ・ 閲覧者*1に指定された連絡状況の確認
- ・ すべての連絡網の閲覧

*1 閲覧者は一斉送信または自動一斉送信で設定します。

+追加する すべて削除する

ユーザー	
三上澄江	削除する
小鳥遊美由紀	削除する
大木泰雄	削除する
菅井長蔵	削除する
竹下衛	削除する

- ① 追加する：マネージャーを任命します。
- ② すべて削除する：全てのマネージャーを解任します。
- ③ 削除する：マネージャーを解任します。

2.6 部門管理者の設定を行う

2.6.1 部門システム管理者の設定を行う

部門管理者の設定

- ① 部門システム管理者の設定
- 部門危機管理責任者の設定
- 部門マネージャーの設定

- ① 部門システム管理者の設定：メニューの部門システム管理者の設定をクリックしてください。

2.6.1.1 部門システム管理者を設定 **Enterprise**

🏠 ホーム > システム設定 > 部門システム管理者を設定


部門システム管理者を設定

① 部門システム管理者*1に設定したユーザーは、設定した部署以下の部署及びそれらの部署に所属するユーザーに対して、以下のシステム設定の編集が可能になります。

- 部署/地域/ユーザーの設定
- CSV読み込み・書き出し
- 部門システム管理者の設定
- 部門危機管理責任者の設定
- 部門マネージャーの設定

*1 部門システム管理者は、第1階層(最上位部署を直接の親とする部署)にのみ作成できます。

①  追加する ②  すべて削除する

部門	ユーザー	
総務部	安川聖	③  削除する

- ① 追加する：部門システム管理者を任命します。
- ② すべて削除する：全ての部門システム管理者を解任します。
- ③ 削除する：部門システム管理者を解任します。

2.6.1.2 部門システム管理者を追加する

機能)

- 部門システム管理者を任命できます。
- 役割は兼務できます。次の管理者兼務可否表を参照してください。
 - 2.6.4.1 管理者兼務可否表 1 (ライト・プレミア・ファミリープラン)
 - 2.6.4.2 管理者兼務可否表 2 (エンタープライズ)

制限)

- 追加人数は無制限です。

ホーム > システム設定 > 部門システム管理者を設定 > 部門システム管理者を追加

部門システム管理者を追加

ユーザーを選択

ユーザー

10 件表示 検索:

<input type="checkbox"/>	ユーザー名	所属部署	所属地域
<input checked="" type="checkbox"/>	危機太郎	営業本部, 社長室	
<input type="checkbox"/>	マネージャー小太郎	パッケージグループ	
<input type="checkbox"/>	安否太郎	国内物流課	
<input checked="" type="checkbox"/>	安川聖	営業本部	
<input type="checkbox"/>	江崎一太郎	国内推進課	
<input type="checkbox"/>	大木泰雄	海外推進課	
<input type="checkbox"/>	斎藤修	海外物流課	
<input type="checkbox"/>	菅井長蔵	国内物流2課	
<input type="checkbox"/>	古橋彩那	開発推進課	
<input type="checkbox"/>	合田和枝	クラウド事業部, 社長室	

128 件中 1 から 10 まで表示

前 1 2 3 4 5 ... 13 次

追加する部署を選択

営業本部

追加する

キャンセルする

- ① ユーザーを選択：単体または複数を選択できます。
- ② 検索：ユーザー名・所属部署・所属地域で検索できます。
- ③ 選択したユーザー：①で選択したユーザーを表示します。
- ④ 追加する部署を選択：部門システム管理者が対応する部署を選択します。ユーザーが所属する以外の部署でも選択できます。
- ⑤ 追加する：部門システム管理者を追加して部門システム管理者を設定に戻る
- ⑥ キャンセルする：追加を取りやめて部門システム管理者を設定に戻る

2.6.2 部門危機管理責任者の設定を行う **Enterprise**



- ① 部門危機管理責任者の設定：メニューの部門危機管理責任者の設定をクリックしてください。

2.6.2.1 部門危機管理責任者を設定

🏠 ホーム > システム設定 > 部門危機管理責任者の設定

部門危機管理責任者の設定

③ 部門危機管理責任者*1に設定したユーザーは、設定した部署以下の部署及びそれらの部署に所属するユーザーに対して、次のことが可能になります。

- 掲示板の作成
- メッセージの作成
- 閲覧者*2に指定された連絡状況の確認
- 連絡網の閲覧
- 一斉送信の実行
- 運用設定の編集

*1 部門危機管理責任者は、第1階層(最上位部署を直接の親とする部署)にのみ作成できます。

*2 閲覧者は一斉送信または自動一斉送信で設定します。

➕ 追加する 🗑️ すべて削除する

部門	ユーザー	
総務部	小鳥遊美由紀	🗑️ 削除する

- ① 追加する：部門危機管理責任者を任命します。役割は兼務できます。部門システム管理者+部門危機管理責任者等。
- ② すべて削除する：全ての部門危機管理責任者を解任します。
- ③ 削除する：部門危機管理責任者を解任します。

2.6.2.2 部門危機管理責任者を追加する

機能)

- 部門危機管理責任者を任命できます。
- 役割は兼務できます。次の管理者兼務可否表を参照してください。
 - 2.6.4.1 管理者兼務可否表 1 (ライト・プレミア・ファミリープラン)
 - 2.6.4.2 管理者兼務可否表 2 (エンタープライズ)

制限)

- 追加人数は無制限です。

ホーム > システム設定 > 部門危機管理責任者の設定 > 部門危機管理責任者の追加

部門危機管理責任者の追加

ユーザーを選択

ユーザー

10 件表示 検索:

<input type="checkbox"/>	ユーザー名	所属部署	所属地域
<input type="checkbox"/>	危機太郎	営業本部, 社長室	
<input type="checkbox"/>	マネージャー小太郎	パッケージグループ	
<input checked="" type="checkbox"/>	安否太郎	国内物流課	
<input type="checkbox"/>	安川聖	営業本部	
<input type="checkbox"/>	江崎一太郎	国内推進課	
<input checked="" type="checkbox"/>	大木泰雄	海外推進課	
<input type="checkbox"/>	斎藤修	海外物流課	
<input type="checkbox"/>	菅井長蔵	国内物流2課	
<input type="checkbox"/>	古橋彩那	開発推進課	
<input type="checkbox"/>	合田和枝	クラウド事業部, 社長室	

128 件中 1 から 10 まで表示

前 1 2 3 4 5 ... 13 次

追加する部署を選択

クラウド事業部

追加する

キャンセルする

- ① ユーザーを選択：単体または複数を選択できます。
- ② 検索：ユーザー名・所属部署・所属地域で検索できます。
- ③ 選択したユーザー：①で選択したユーザーを表示します。
- ④ 追加する部署を選択：部門危機管理責任者が対応する部署を選択します。ユーザーが所属する以外の部署でも選択できます。
- ⑤ 追加する：部門危機管理責任者追加して部門危機管理責任者を設定に戻る
- ⑥ キャンセルする：追加を取りやめて部門危機管理責任者を設定に戻る

2.6.3 部門マネージャーの設定を行う **Enterprise Family Premier lite**



- ① 部門マネージャーの設定：メニューの部門マネージャーの設定をクリックしてください。

2.6.3.1 部門マネージャーを設定

ホーム > システム設定 > 部門マネージャーの設定

部門マネージャーの設定

① 部門マネージャーに設定したユーザーは、設定した部署以下の部署及びそれらの部署に所属するユーザーに対して、次のことが可能になります。

- 掲示板の作成
- メッセージの作成
- 閲覧者*1に指定された連絡状況の確認
- 連絡網の閲覧

*1 閲覧者は一斉送信または自動一斉送信で設定します。

+ 追加する - すべて削除する

部門	ユーザー	
総務部	システム太郎	削除する
	危機太郎	削除する

- ① 追加する：部門マネージャーを任命します。
- ② すべて削除する：全ての部門マネージャーを解任します。
- ③ 削除する：部門マネージャーを解任します。

2.6.3.2 部門マネージャーを追加する

機能)

- 部門マネージャーを任命できます。
- 役割は兼務できます。次の管理者兼務可否表を参照してください。
 - 2.6.4.1 管理者兼務可否表 1 (ライト・プレミア・ファミリープラン)
 - 2.6.4.2 管理者兼務可否表 2 (エンタープライズ)

制限)

- 追加人数は無制限です。

- ① ユーザーを選択：単体または複数を選択できます。
- ② 検索：ユーザー名・所属部署・所属地域で検索できます。
- ③ 選択したユーザー：①で選択したユーザーを表示します。
- ④ 追加する部署を選択：部門マネージャーが対応する部署を選択します。ユーザーが所属する以外の部署でも選択できます。
- ⑤ 追加する：部門マネージャー追加して部門マネージャーを設定に戻る
- ⑥ キャンセルする：追加を取りやめて部門マネージャーを設定に戻る

2.6.4 管理者（役割）の兼務について

管理者（役割）は兼務できます。兼務できる管理者はプランにより異なります。

2.6.4.1 管理者兼務可否表 1 (ライト・プレミア・ファミリープラン)

	システム管理者	危機管理責任者	マネージャー	部門マネージャー	備考
システム管理者		○	○	○	危機管理責任者・マネージャー・部門マネージャーのいずれかを兼務できます。
危機管理責任者	○		×	×	—
マネージャー	○	×		×	—
部門マネージャー	○	×	×	○	複数部署の部門マネージャーを兼務できます。

2.6.4.2 管理者兼務可否表 2 (エンタープライズ)

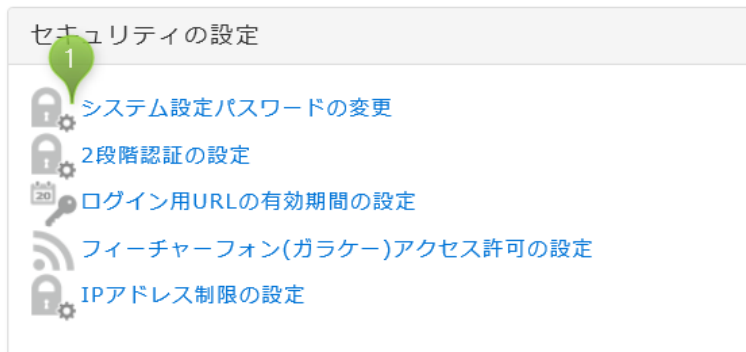
	システム管理者	危機管理責任者	マネージャー	部門システム管理者	部門危機管理責任者	部門マネージャー	備考
システム管理者		○	○	×	○	○	危機管理責任者・マネージャー・部門危機管理責任者・部門マネージャーのいずれかを兼務できます。
危機管理責任者	○		×	○	×	×	システム管理者・部門システム管理者のいずれかを兼務できます。
マネージャー	○	×		○	○	×	システム管理者・部門システム管理者・部門危機管理責任者のいずれかを兼務できます。
部門システム管理者	×	○	○	○	○	○	危機管理責任者・マネージャー・部門危機管理責任者・部門マネージャーのいずれかを兼務できます。また、複数部署の部門システム管理者を兼務できます。
部門危機管理責任者	○	×	○	○	○	○ *1	システム管理者・マネージャー・部門システム管理者・部門マネージャーのいずれかを兼務できます。また、複数部署の部門危機管理責任者を兼務できます。
部門マネージャー	○	×	×	○	○ *2	○	システム管理者・部門システム管理者・部門危機管理責任者のいずれかを兼務できます。また、複数部署の部門マネージャーを兼務できます。

*1：部門危機管理責任者は自分の管理部署以外の部署において部門マネージャーを兼務できます。

*2：第1階層の部署の部門マネージャーは自分の管理部署以外の部署において部門危機管理責任者を兼務できます。第2階層以下の部署の部門マネージャーはどの部署の部門危機管理責任者も兼務できます。

2.7 セキュリティの設定を行う

2.7.1 システム設定パスワードの変更を行う



- ① システム設定パスワードの変更：メニューのシステム設定パスワードの変更をクリックしてください。

2.7.1.1 システム管理パスワードの設定

機能)

- システム設定にログインするためのパスワードを設定します。

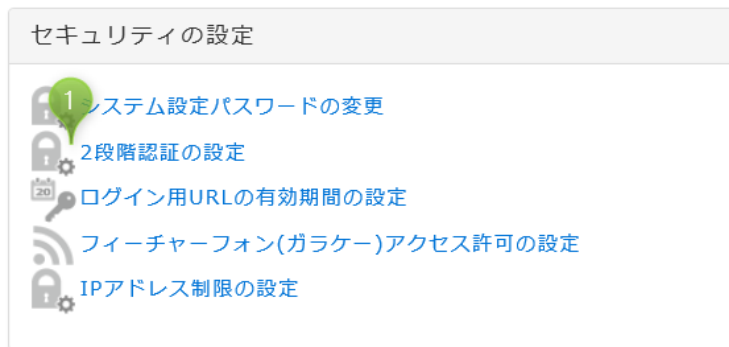
制限)

- 現在のシステム管理パスワードを入力しないとパスワードを変更できません。
- 認証の有効期間は 6 時間です。
- システム管理者・部門システム管理者は同一パスワードとなります。
- パスワードに使用可能な文字等は次の通りです。
 - ・ 6 文字以上、64 文字以内で変更できます。
 - ・ 半角英数及び次の記号 (!@#\$%^&*())等) のみ動作保証します。
 - ・ 上記動作保証外の文字をパスワードとしても登録可能ですが、他の端末で安否確認サービス 2 を利用した際に入力できない (異体字など) 可能性があります。できるだけ動作保証範囲内の文字を利用してください。

A screenshot of the 'システム管理パスワードの設定' (System Management Password Setting) page. The page has a breadcrumb trail: 'ホーム > システム設定 > システム管理パスワードの設定'. The main heading is 'システム管理パスワードの設定'. There are five input fields with green callout bubbles: 1. '現在のパスワード*' (Current Password), 2. '新しいパスワード*' (New Password), 3. '新しいパスワード(確認)*' (New Password (Confirmation)), 4. '変更する' (Change), and 5. 'キャンセルする' (Cancel). The input fields contain masked characters (dots).

- ① 現在のパスワード：現在のシステム管理パスワードを入力します。
- ② 新しいパスワード：新しいシステム管理パスワードを入力します。
- ③ 新しいパスワード (確認)：入力確認用に②と同じパスワードを入力します。
- ④ 変更する：システム管理用パスワードを変更してシステム設定に戻ります。
- ⑤ キャンセルする：変更を取りやめてシステム設定に戻ります。

2.7.2 2段階認証の設定を行う



- ① 2段階認証の設定：メニューの2段階認証の設定をクリックしてください。

2.7.2.1 2段階認証の設定

機能)

- ユーザーが、パスワードによるログイン時に登録済みのメールアドレスに送られた認証コード（6桁の数字）を入力してログインするようにセキュリティを高められます。詳しくは共通マニュアルの「3章アクセス方法について」内にある2段階認証の項目を参照してください。

制限)

- 事前にユーザーのメールアドレスを登録することが必要です。

ホーム > システム設定 > 2段階認証の設定

2段階認証の設定

会社全体の2段階認証の設定

① 2段階認証を有効にするとパスワードによるログイン時に、メールアドレスに送られた認証コードを入力する必要があります。2段階認証を有効にした場合でも、安否確認サービスから送信されるメールに含まれるログイン用URLを使用した場合は、認証コードを入力せずにログインすることができます。
2段階認証を会社全体で有効にした場合でも、メールアドレスの登録のないユーザーは2段階認証を使用することができません。

1 2段階認証を会社全体で有効にする

2

3

ユーザーの2段階認証の設定の確認

④ 全員表示する
○ 2段階認証が有効になっていないユーザーのみ表示する
○ 2段階認証が有効になっているユーザーのみ表示する

⑤ 個人設定での2段階認証の設定は各ユーザーが設定することができ、システム管理者が設定することはできません。

10 件表示

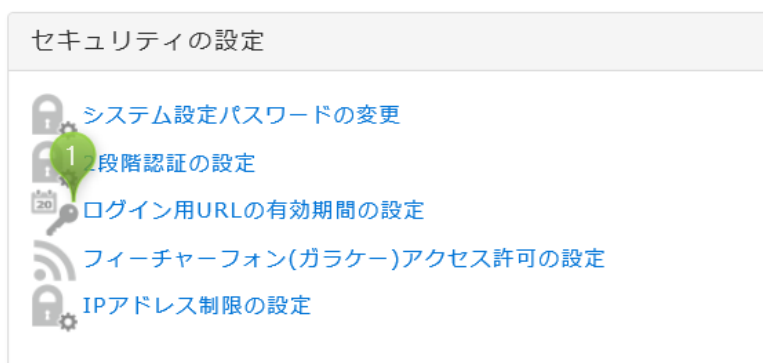
名前	ログイン名	部署名	メールアドレスの登録	個人設定での2段階認証
危機太郎	kikitaro	川越帆布HDG統合対策本部	設定済み	無効
マネージャー小太郎	manetaro	社員	設定済み	無効
安西太郎	anpitaro	第2営業部	設定済み	無効
佐藤 涼介	sato	jpfood対策本部	未設定	無効
安川聖(部門システム管理者)	syain0001	第1営業部	設定済み	無効
前田 太一	maeda	日本IT対策本部	未設定	無効
江崎一太郎	syain0002	総務部	設定済み	無効
大木泰雄	syain0003	川バン対策本部,社員	設定済み	無効
加藤 紗矢	kato	jpfood対策本部	未設定	無効
斎藤修	syain0004	第1営業部	設定済み	無効

137件中1から10まで表示

最初 前 1 2 ... 次 最後

- ① 2段階認証を会社全体で有効にする：チェックすると有効化します。無効化したい場合はチェックを外します。
 ※個人設定での2段階認証設定は無視され、本設定にて全体管理ができます。
 ※2段階認証を会社全体で有効にした場合でも、システム設定にメールアドレスの登録のないユーザーは2段階認証を使用することができません。
- ② 変更する：①の設定を有効化してシステム設定に戻ります。
- ③ キャンセルする：変更を取りやめてシステム設定に戻ります。
- ④ ユーザーの2段階認証の設定の確認：「全員表示する」「2段階認証が有効になっていないユーザーのみ表示する」「2段階認証が有効になっているユーザーのみ表示する」の何れかを選択し、選択した内容を⑥に表示します。
- ⑤ 件数表示：リストの表示件数を選択できます。
- ⑥ ユーザーの2段階認証の設定の確認リスト：④で選択した内容を表示します。各項目でソートできます。
- ⑦ 検索：⑥の表示内容を検索できます。ログイン名のみ検索対象外です。
- ⑧ ページ：⑤で設定した件数で表示しきれない場合はこちらで画面繰りできます。

2.7.3 ログイン用 URL の有効期間の設定を行う



- ① ログイン用 URL の有効期間の設定：メニューのログイン用 URL の有効期間の設定をクリックしてください。

2.7.3.1 ログイン用 URL の有効期間の設定

機能)

- 各種メールに付く URL の有効期間を設定します(SSO キー付き URL)。詳しくは共通マニュアルの「3章アクセス方法について」を参照してください。

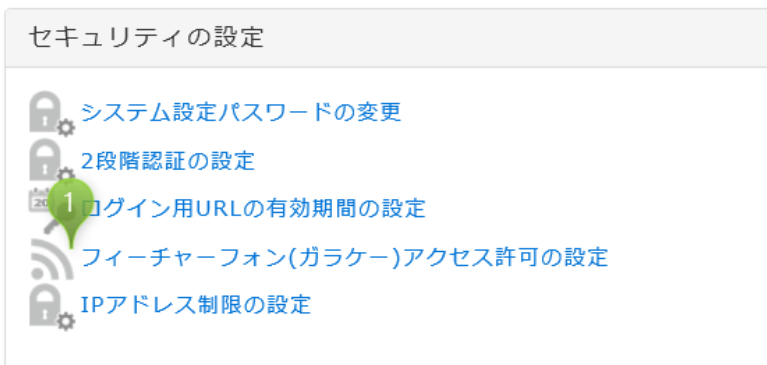
制限)

- 特に無し。



- ① 各種メールに付く URL の有効期間：SSO 付き URL の有効期間を選択します。初期値は2週間です。
- ② 変更する：ログイン用 URL の有効期間を変更してシステム設定に戻ります。
- ③ キャンセルする：変更を取りやめてシステム設定に戻ります。

2.7.4 フィーチャーフォン（ガラケー）アクセス許可の設定を行う



- ① フィーチャーフォン（ガラケー）アクセス許可の設定：メニューのフィーチャーフォン（ガラケー）アクセス許可の設定をクリックしてください。

2.7.4.1 フィーチャーフォン（ガラケー）アクセス許可の設定

機能)

- 各種メールに付く URL のフィーチャーフォン（ガラケー）アクセス許可の設定を変更します。
- HTTPS 通信のみ許可した場合、http://でアクセスすると https://にリダイレクトします。http://は利用できません。
- フィーチャーフォン（ガラケー）アクセス許可の設定の影響範囲は次の表の通りです。

機能名	メールの種類	https/http 切り替え可否
一斉送信	ユーザー向けメール（宛先）	○
	管理者向けメール（連絡状況の案内先）	○
	家族向けメール（家族への送信）	○
	LINE（有料オプション）ユーザー向け	× https のみ対応
	LINE（有料オプション）管理者向け	× https のみ対応
	スマホアプリ	× https のみ対応
掲示板	掲示板作成者への通知メール	○
メッセージ	宛先登録したユーザーへの通知メール	○
家族メッセージ	コメント書き込み時に家族へ通知するメール	○
運用設定	プライベート連絡先のメンテナンス設定メール	○
個人設定	プライベート連絡先のメールアドレスの登録確認メール	○
	ブックマーク用 URL の送信メール	○
	家族メールアドレスの登録確認メール	○
パスワードを忘れた方	パスワードを忘れた方はこちらメール	○

制限)

- PC またはスマートフォン（フィーチャーフォン以外）は https 通信のみ利用可能です。http 通信の URL をクリックしても自動で https 通信となります。
- フィーチャーフォンは http 通信のみ利用可能です。https 通信は利用できません。

フィーチャーフォン(ガラケー)アクセス許可の設定

※ HTTPSは、通信内容を暗号化することで、通信の盗聴・改ざんを防ぐ通信方式です。

※ HTTPS通信のみご利用されることを推奨しますが、一部フィーチャーフォン(ガラケー)では、HTTPS通信が利用できない機種があります。

※ そういった機種を使ってサービスをご利用になりたい場合、HTTP通信を許可する必要があります。

通信プロトコルを選択

- HTTPS通信のみ許可する
- HTTPS通信とHTTP通信を許可する

変更する

キャンセルする

- ① 通信プロトコルを選択：「HTTPS 通信のみ許可する」または「HTTPS 通信と HTTP 通信を許可する」のどちらかを選択します。初期値は「HTTPS 通信のみ許可する」です。
- ② 変更する：通信プロトコルを変更してシステム設定に戻ります。
- ③ キャンセルする：変更を取りやめてシステム設定に戻ります。

2.7.5 IP アドレス制限の設定を行う **Enterprise**

セキュリティの設定

- システム設定パスワードの変更
- 2段階認証の設定
- ログイン用URLの有効期間の設定
- 1 フィーチャーフォン(ガラケー)アクセス許可の設定
- IPアドレス制限の設定

- ① IP アドレス制限の設定：メニューのIP アドレス制限の設定をクリックしてください。

2.7.5.1 IP アドレス制限の設定

機能)

- システム設定へのアクセスをIPアドレスで制限できます。
- 無制限に登録できます。
- 「許可したIPアドレスに制限する」を選択するとアクセス中のIPアドレスが自動入力されます。

制限)

- システム設定へのアクセスを許可するIPアドレスのみ登録できます。
- IPv4 アドレスのみ登録できます。
- IPアドレスは 123.123.123.123 の形式で1項目に1つのみ記述できます。
- IPアドレスはCIDER表記を含め範囲指定は行えません。

ホーム > システム設定 > システム設定にアクセスできるIPアドレスの設定

システム設定にアクセスできるIPアドレスの設定

システム設定にアクセスできるIPアドレスの設定

制限しない
 許可したIPアドレスに制限する

許可するIPアドレス

※現在のあなたのIPアドレスは153.156.78.15です
 ※こちらのIPアドレスが含まれていない場合、システム設定へのアクセスができなくなりますのでご注意ください

153.156.78.15

123.123.123.123

123.123.123.124

- ① システム設定にアクセスできる IP アドレスの設定：システム設定に IP 制限をかける否かを選択できます。初期値は「制限しない」です。
- ② 追加する：「許可した IP アドレスに制限する」を選択すると表示されます。IP アドレスを入力する項目を追加します。
- ③ 入力欄：IP アドレスを IPv4 形式で入力します。1 項目 1 つの IP アドレスのみ入力できます。範囲指定等は行えません。
- ④ 削除する：入力欄を削除します。自動で入力した IP アドレスを削除するとシステム設定へのアクセスができなくなります。
- ⑤ キャンセルする：変更を取りやめてシステム設定に戻ります。
- ⑥ 変更する：選択項目及び入力した内容を確定します。

2.8 アプリケーションの設定を行う

2.8.1 メッセージ作成許可の設定を行う

アプリケーションの設定

メッセージ作成許可の設定

所属地域の編集許可の設定

- ① メッセージ作成許可の設定：メニューのメッセージ作成許可の設定をクリックしてください。

2.8.1.1 メッセージ作成許可の設定

機能)

- メッセージを作成できるユーザーを設定します。設定範囲は次の通りです。
 - ・許可しない … 運用管理者（危機管理責任者・部門危機管理責任者・マネージャー・部門マネージャー）のみメッセージを作成できます。
 - ・許可する
 - ・すべてのユーザー … 作成許可の制限はありません。すべてのユーザーがメッセージを作成できます。
 - ・自身が所属している部署以下のユーザーに限定する … すべてのユーザーがメッセージを作成できますが

自身が所属する部署と配下の部署に限定されます。

制限)

- 特に無し。

ホーム > システム設定 > メッセージ作成許可の設定

メッセージ作成許可の設定

運用管理者以外のユーザーが新しいメッセージを作成

許可しない

許可する

登録する

キャンセルする

- ① 運用管理者以外のユーザーが新しいメッセージを作成：メッセージ作成許可の対象を選択します。初期値は「許可しない」です。
- ② 登録する：メッセージ作成許可の設定を登録してシステム設定に戻ります。
- ③ キャンセルする：登録を取りやめてシステム設定に戻ります。

2.8.2 所属地域の編集許可の設定を行う **Premier**



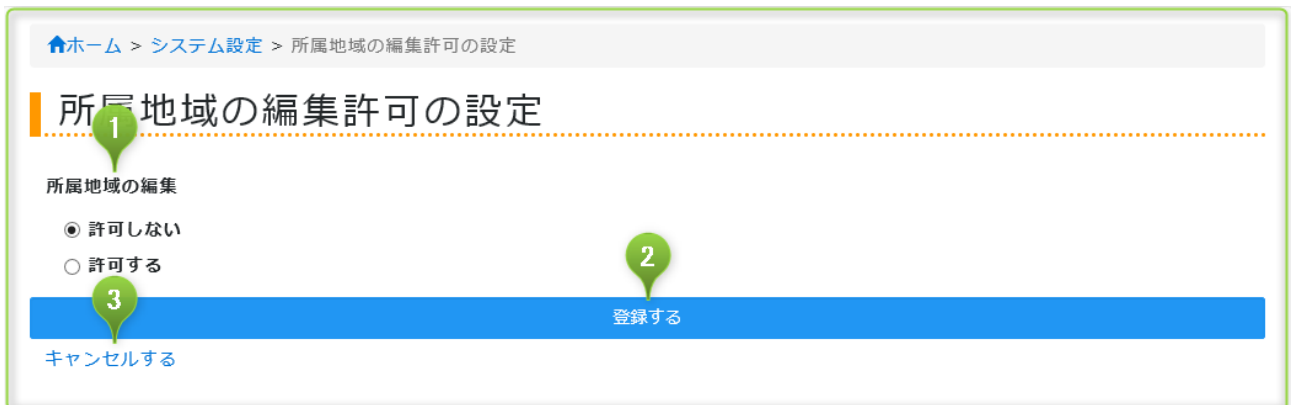
2.8.2.1 所属地域の編集許可の設定

機能)

- ユーザーへの所属地域の編集許可を設定します。
 - ・許可しない … ユーザーは所属地域を編集できません。システム管理者がユーザーの所属地域を登録します。
「ホーム > システム設定 > 部署/地域/ユーザーの設定」または「ホーム > システム設定 > CSV 読み込み・書き出し」から登録できます。
 - ・許可する … ユーザーが所属地域を登録できます。「ホーム > 個人設定 > 所属地域の設定」にて登録します。

制限)

- 「許可しない」に設定した場合、ユーザーが設定した所属地域の情報は全て削除されます。



- ① 所属地域の編集：ユーザーに所属地域の編集許可を与えるか否か選択します。初期値は「許可しない」です。
- ② 登録する：所属地域の編集許可の設定を登録してシステム設定に戻ります。
- ③ キャンセルする：登録を取りやめてシステム設定に戻ります。

2.9 外部システム連携の設定を行う **Enterprise**

API マニュアルは次の URL でご案内しております。 <https://anpi.cstap.com/docs/api.html>

2.9.1 API 認証トークンの発行を行う



- ① API 認証トークンの発行：API 認証トークンの発行をクリックしてください。

2.9.1.1 API 認証トークンの発行

機能)

- API 認証トークンを発行できます。

制限)

- システム管理者のみ操作できます。部門システム管理者は操作できません。
- API 認証トークンは 1 つのみ発行できます。
- 有効期限はありません。API 認証トークンを破棄するまで利用できます。



- ① API 認証トークン：発行または未発行を表示します。
- ② API 認証トークンを取得する：API 認証トークンを取得（画面表示）します。

2.9.2.1 API 認証トークンを破棄する

機能)

- API 認証トークンを破棄できます。

制限)

- システム管理者のみ操作できます。部門システム管理者は操作できません。



- ① API 認証トークン：HTTP ヘッダの Authorization フィールドに指定する内容を表示します。
- ② API 認証トークン破棄する：API 認証トークン破棄して API 認証トークンの発行画面に戻ります。

以上

安否確認サービス 2

システム管理者マニュアル

Ver.2.6.0

作成・編集 トヨクモ株式会社
〒141-0021
東京都品川区上大崎 3-1-1 JR 東急目黒ビル 14 階
<https://toyokumo.co.jp/>

Copyright(C) Toyokumo,Inc.

※本マニュアルに記載されております内容はサービス改善のため予告なく変更させて頂く場合がございます。

※記載された会社名・各製品名は各社の登録商標または商標です。

※本マニュアルの全部または一部を無断で複写/転写することを禁じます。